

様式3

指定管理業務 事業評価書(市及び指定管理者作成)

平成29年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市営釣場 神扇池
施設所管課	建設経済部 商工観光課 (内線593)
指定管理者名	サンワックス・都市管理サービス共同事業体 (報告：代表企業 (株)サンワックス)
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日 (2期4年目 ※通算9年目)

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	4	4
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	4	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	4	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	4
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	4
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	/	/
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	4	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか	4	4
		備品などの設備の維持管理は適正であるか		
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか	3	3
		利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		
	4 指定事業・自主事業			
(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ のサービスの 安定性	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・IIIの評価点数の合計(得点/満点)	79 / 96	76 / 96

総括	指定管理者の自己評価	<p>H29年度、代表団体：㈱サンワックスとしては、再指定後2期目・4年目（通算9年目）の運営となります。共同事業体による指定管理者として、基本協定書や管理業務仕様書に基づいて管理運営業務を行いました。㈱サンワックスは施設運営全般、大会・イベント等の企画開催を担い、構成企業の都市管理サービス㈱は維持管理全般を担い、施設修繕等の対応も臨機に行い、利用環境の整備に努めました。</p> <p>H29年度の入場者数は、前年度 33,331人に対し、微減の32,963人（-368人減）の利用状況となりました。入場料収入についても、H29年度の入場料収入は、前年度 40,055千円に対し、38,954千円（-1,101千円減）となりました。前年度に引き続き、人件費を主とする経費支出の増加等の要因もあり、経常損失という結果となりました。</p> <p>人件費の増加は、最低賃金上昇という外的要因のみの結果ではなく、積極的な大会・イベント開催や当グループの事業への取り組みによる結果でもあります。</p> <p>特に、29年度は利用者に釣を「競技」として興味をもっていただけるよう、定例の釣り大会だけでなく、年度計画にはなかった新たなミニ大会企画を2つ実施しました。</p> <p>【新規に開催した大会名】</p> <p>①『8kgMAX大会』…釣果が8kgに一番近い選手が優勝となるゲーム感覚で楽しめる大会</p> <p>②『クリスマス早がけ大会』…いち早く3枚を釣った選手が優勝となる大会</p> <p>前年度までに開催した大会についても、回数を重ねながら参加率を70%以上に維持しております。中でも、年明けの『Happiness（ハピネス）大会』は、定員60名を超える80名の参加、昨年は荒天のため中止となった『底釣り大会』は、2月の厳冬期でありながらも定員に近い69名の参加となりました。</p> <p>それ以外にも、現利用者への還元策として『利用者感謝デー（月2回）』『女性利用サービス』『大会参加者への試釣券プレゼント』を継続して実施しています。</p> <p>公共施設の役割でもある「地域とのコミュニティづくり」の一環として、幸手市商工会主催による『幸手物産フェア』に参加し、ブース展示をして神扇池の利用を呼びかけました。神扇池利用者への働きかけとしては、年間会員や常連のお客様に呼びかけ『こども釣教室・インストラクター』への協力をいただいております。神扇池利用者と未利用者（参加された子ども達）を含めた地域の関係づくりに貢献できたと考えております。</p> <p>外部委託を主とせず、共同事業体というメリットを有効に活かして、業務の内製化（グループ内・現地職員で対応、情報の共有化など）をして維持管理費の削減に努めています。また、第2期（2014年度）より、毎年10tの放流量を維持しており、利用者からの期待値も高い状況になっています。水質維持については、納入業者と連携した定期的な管理、加えて、市に改修工事をしていただいた「仕切り網の新設」「水車の設置」などの改善結果もあり、へらの死魚数は（この4年間で）減少傾向にあります。</p> <p>利用者数や利用料金収入が伸び悩む傾向であるという状況でも、2期に渡る運営管理を通じて得た施設特性や利用者からの声を活かし、積極的な事業を展開してまいります。広報活動、外部関係先への働きかけ（施設取材など）の充実、維持管理の効率化に取り組んでまいります。</p>
	施設所管課の評価	<p>基本協定及び仕様書に則して良好な管理が行われている。また、大会・イベントの開催を積極的に実施し利用促進を図ることや、アンケート結果については評価できる。しかし、年間の利用者数については、平成21年の指定管理制度を導入以降の年間利用者数の平均と比較しても一定の水準に達しているが、平成28年度と比べ減少しており、天候の影響もあるが、さらに利用促進に努めてもらいたい。</p>

総合評価	区分	S
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である）
	A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
	C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）